

第6学年「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

各教科の課題	具体的な授業改善策	チェック	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○話す、聞く力の定着 ○書く力の定着 ○読む力の定着 ○漢字・語彙力の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見や感想を効果的に伝えられるよう、話す、聞く活動を意図的に設定し指導法を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料を提示しながら説明や報告をしたり、それを聞いて互いに助言したりする機会を設定する。 ・相手や場面に応じた適切な言葉遣いができるように繰り返し指導を行っていく。 ・朝のスピーチ等、自分の思いや考えを表現し、発表する場を意図的に設定する。 ○目的や意図に応じて、自分の考えを筋道を立てて文章を書くことができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題について調べ、事実と感想、意見などを区別して書く機会を設ける。 ・必要に応じて、効果的な表現方法を使用できるようにする。 ・丁寧に正しく漢字を書くことができるようにする。 ○文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、自分の考えを明確にしながらかんたりに読んだりできるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・文章に書かれている事実、理由や根拠を叙述に即して丁寧に読み進めるようにする。 ・自分の立場から、書かれている意見についてどのように考えるか意識して読むように働きかけたり、発表したりする機会を設ける。 ○漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語に注意して使ったりするように指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新出語について、調べる時間を設けたり宿題に出したりする。 ・繰り返し練習に取り組む時間を確保する。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の歴史や政治、国際社会での役割についての思考・判断力の向上 ○資料活用の技能や表現力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○事実や資料から読み取れることから、自分の考えをもち、表現できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の数値や事実を読み取るだけでなく、背景やその事実から予測できることを発表させる。 ・わかったことを発表し合う場を設定し、友達への考えのよさに気付かせ、自らの学びに生かせるようにする。 ○教科書や社会科資料集、図書資料などを活用し、調べたことをわかりやすくまとめられるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現の仕方を教える。 ・友達のまとめをはじめとして、よい見本を用意し、参考にさせる。 ・ミニレポート等、児童が考えをノートにまとめる機会を設ける。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識・技能の習得 ○数学的な思考力・判断力・表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導を実施し、個に応じた支援を行う。 ○少人数指導担当教員と、授業の進度、指導法、児童の学習状況等について連携をとる。 ○ノートの書き取り方や道具の使い方の指導を重ねる。 ○見直すことや図や数直線を描く習慣、また立式する際に数値を簡単に考えたりする習慣をつけ、正確性を上げる指導をしていく。 ○授業は、問題解決的な過程で展開することとし、次のような時間を必ずとる。 <ul style="list-style-type: none"> ・じっくりと考える場、考えを伝え合う場、教師が内容を押さえる場、反復練習で定着を図る場 ○自信をもって自力解決に取り組み、発言できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程に目を向けた机間指導を行い、賞賛の声掛けや助言を行う。 ・指導内容やねらいを明確にし、短時間で効果のある机間指導を心がける。 ○思考・表現するために必要な技能を身に付けさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉や図・式、数直線に表すなど表現するための手立てを教え、自分の考えをノートに書くことをすすめていく。 ・式を読む活動を取り入れる。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○科学的なものの見方や考え方の定着 ○観察・実験の技能の向上と安全の配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想や仮説を立て、その根拠を明確にもたせ、それを基にして、計画的に実験や観察を行わせる。 ○実験のまとめでは、実験結果とわかったことやその根拠を区別して考察・表現させる。 ○安全を確保した上で実験を行うことができるように指導する。 ○薬品や実験道具などの正しい扱い方の指導を徹底する。 ○実験や観察の目的を明確にした上で取り組ませる。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽表現の技能の向上 ○鑑賞能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○音の重なりや響きを意識した演奏ができるような教材選びと声掛けを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループや全体など、様々な練習形態をもつことで、いろいろな音を重なりを意識させる。 ・また、互いの演奏を聴き、高め合いながら、美しい響きを体得させる。 ・自分のパートの役割を理解し、互いの音を聴きながら、楽しく演奏する力を養う。 ○楽曲のよさや美しさを味わい、互いに言葉で表し、伝えあうことで、鑑賞の能力を育成する。 	
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○図工に対する、興味・関心の育成 ○表現方法の向上 ○鑑賞能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供たちのこれまでの経験を活かし、自ら進んで表現したくなるような題材選択を行う。 ○色合いや形、構成の美しさを考えながら豊かに表現ができるよう助言する。 ○使用する素材や材料などの特徴をとらえ、用途などを考えながら作品づくりができるようにする。 ○友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の作品づくりに活かせるようにする。 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○調和のよい食事のとり方の意識の向上 ○家族の一員として、家庭生活への関わり意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○1食分の献立を考えさせ、「作り手」となることにより、課題を意識させる。 ○栄養士と連携をとり、授業を進めていく。 ○学習したことを家でも実践することを呼びかける。「トライカード」を活用していく。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○運動への関心・意欲・態度の育成 ○運動への思考・判断 ○運動技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動のルールを守り、勝敗を素直に認めたり、互いのよさを認め合ったりできるよう声かけをする。 ○運動の仕方をわかりやすく提示したり、声かけをしたりして、個に応じた指導をしていく。 ○授業の見通しがもてるように、単元の流れを提示する。 ○学習カードを活用し、自分の運動能力に合った課題をもって取り組ませることで、技能の向上を図る。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語に親しみ、進んでコミュニケーションをとろうとする態度の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に英語の学習に取り組めるように、その場に応じた指導を進めていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学習の仕方を振り返ることができるように、「学習カード」を用意する。 ・ALTとの役割分担を行い、効果的な授業に努める。 	